



ちこん



パァパァ...

あれ?
この香りは

フワッ

!



海や!



ユウカー!
おばあちゃんち
先に行くよ!



海なう。移動半白カ

めっちゃ遠出! 家出??

ちがうwww
おじいちゃんの法事
小学生ぶりだよー



うん!
あとで
歩いて行く



おじいちゃん
亡くなって以来
だもんね

おばあちゃん
元気にしてる
かな...?

早く帰って
くるんだぞ

妖怪!?

あのちいさ
のから
の香りが...



ここち
来さうよ!

おや
おや

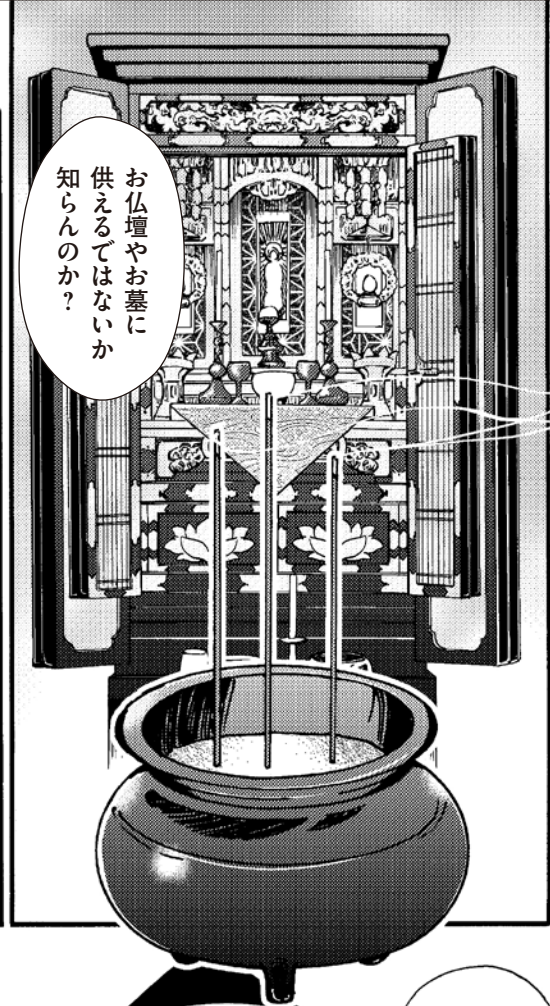
ん...



し、知ってるけど
うちマシヨシだから
お仏壇ないしっ

そまそま
あんた
一体何なの!?

ああ



お仏壇やお墓に
供えるではないか
知らんのか?



この香りだっ!

ここはお線香の
工場である



沈香の
ジンちゃんか...

吾輩は
じんこう
沈香の精である

Linn

やあ

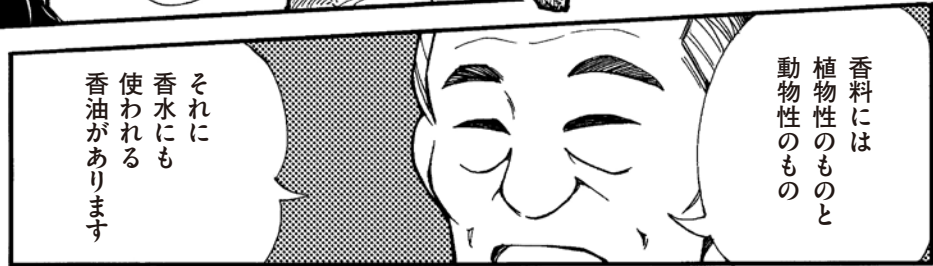
お客さん?

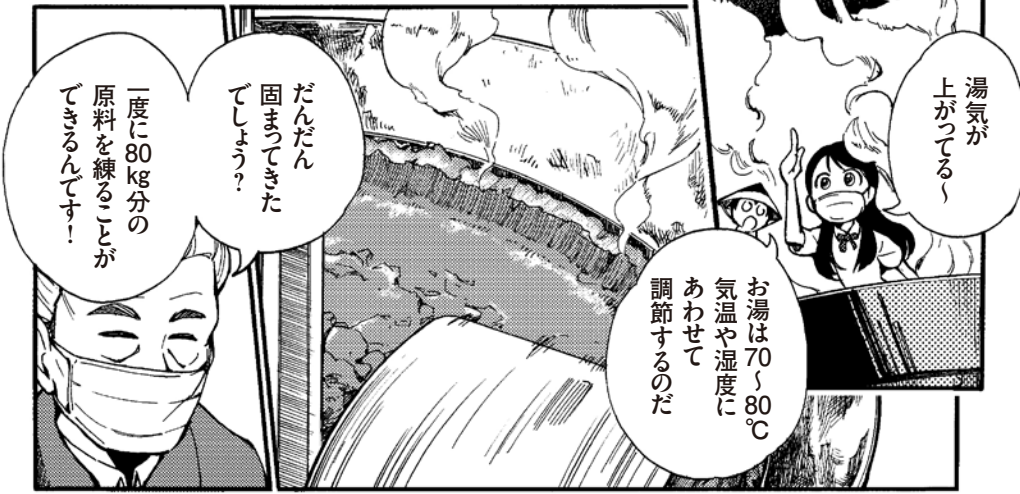


お線香?

心が落ち着く
香りだろう?

ええっ!?





湯気が
上がってる

お湯は70〜80℃
気温や湿度に
あわせて
調節するのだ

だんだん
固まってきた
でしょう？

一度に80kg分の
原料を練ることが
できるんです！

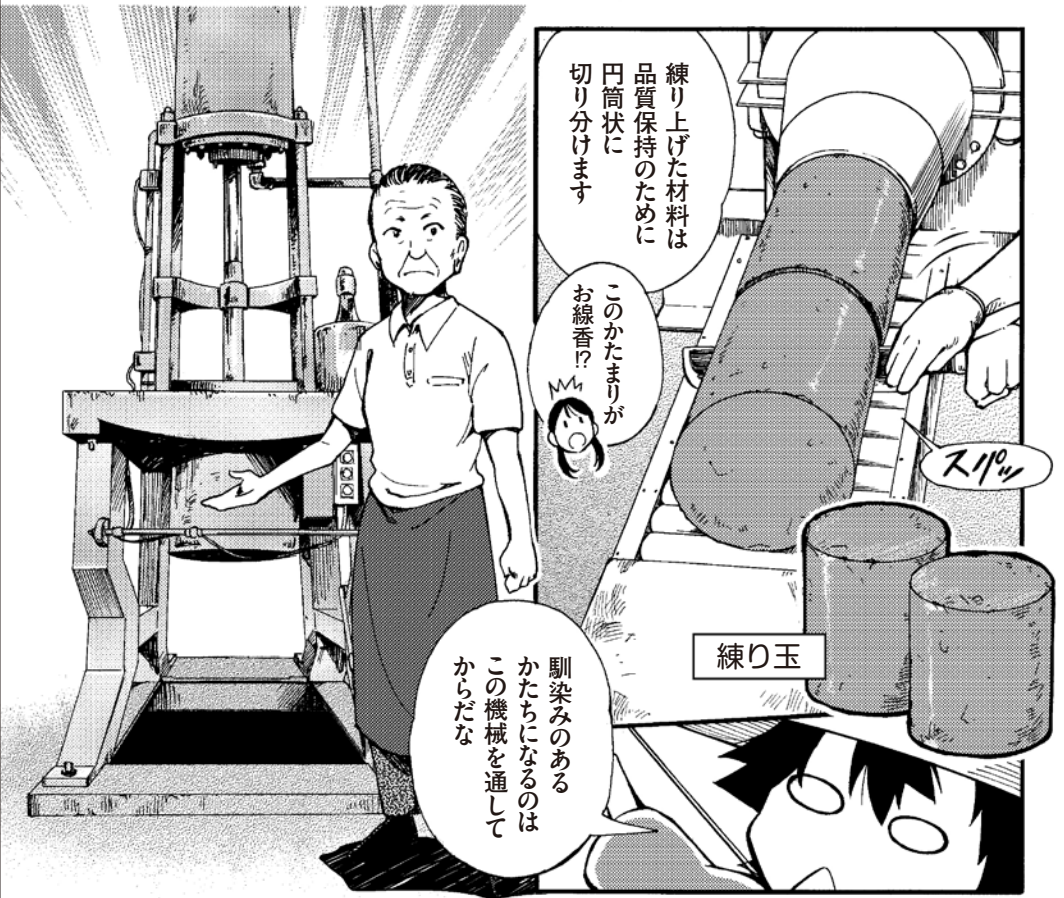
「沈香」は
代表的な
香木のひとつで
原木は非常に
軽いものの
樹脂が沈着すると
水に沈むように
なるというのが
その名の由来です



その中でも
最上級のもの
「伽羅」と呼ばれ
非常に貴重なものと
されています



パフ
パフ...



練り上げた材料は
品質保持のために
円筒状に
切り分けます

このかたまりが
お線香!?

スリッ

練り玉

馴染みのある
かたちになるのは
この機械を通して
からだな

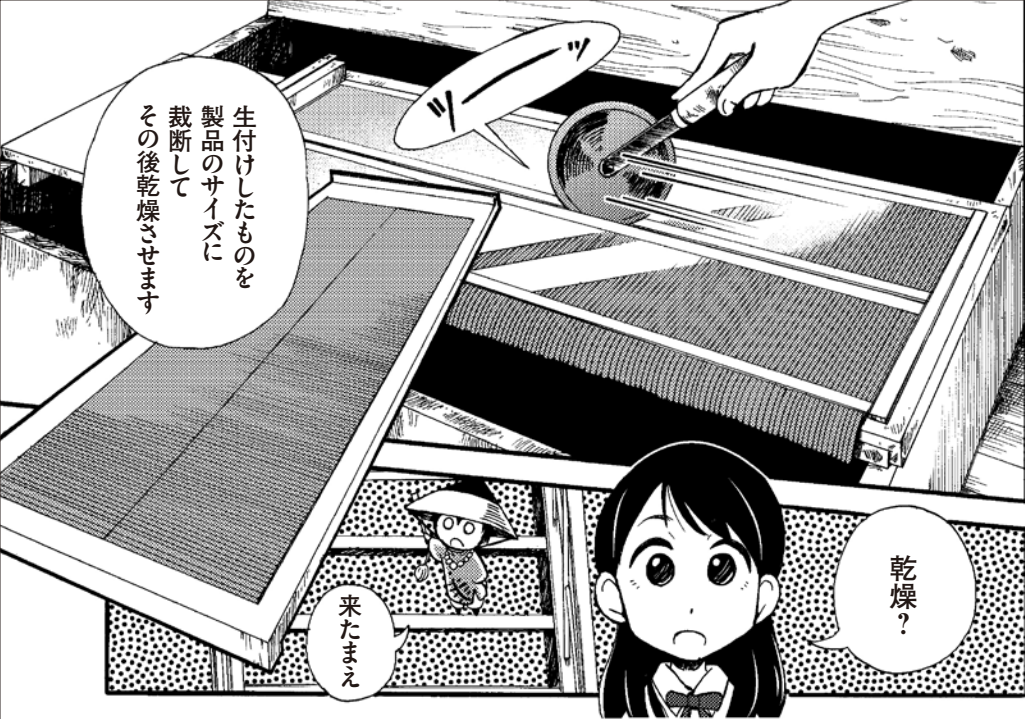


次に
先ほどの原料に
お湯と着色料を
加えます

それを混練機で
粘土状になるまで
練り上げるんです

ガン
ガン...

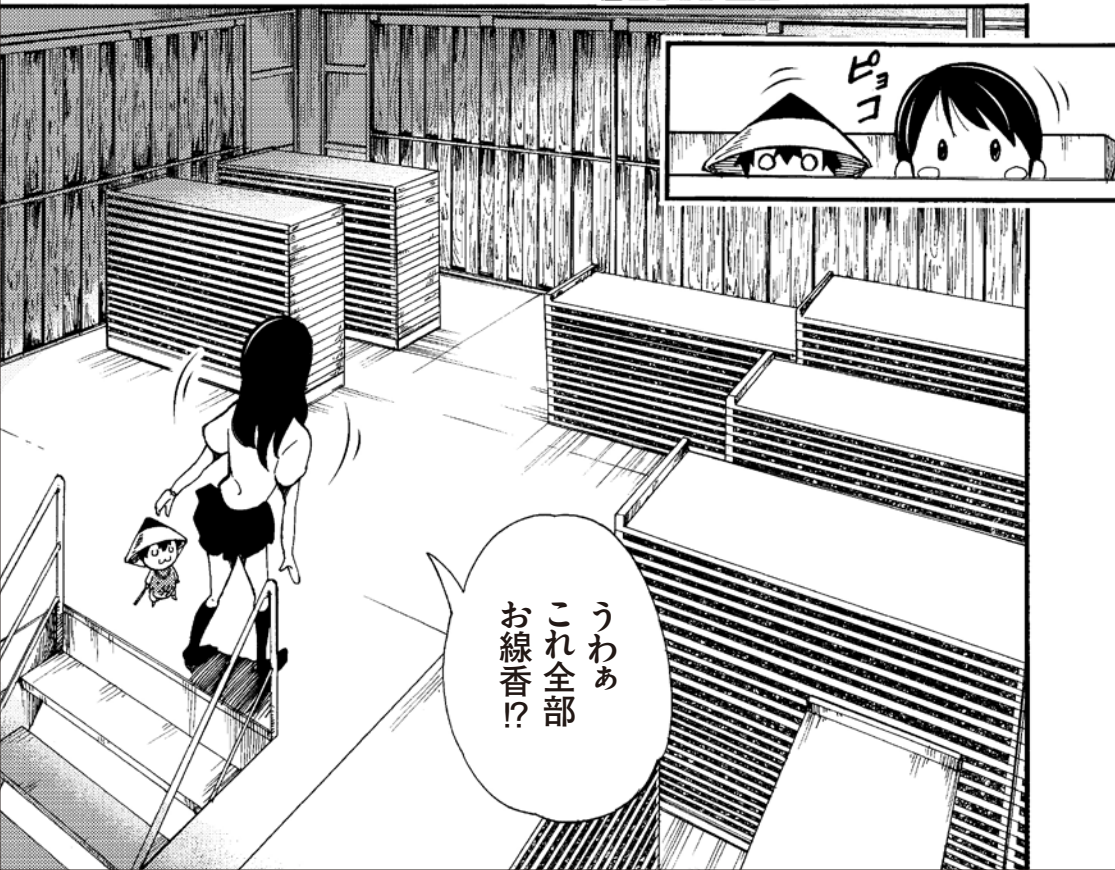
スネーッ!



生付けしたものを
製品のサイズに
裁断して
その後乾燥させます

来たまえ

乾燥？



うわあ
これ全部
お線香？！



ドスッ

練玉を
小さく切って
この押し出し機に
入れ

そうやね
この「巢金」を
通すと
よりお線香らしく
なりますよ

巢金

単金をとおして
押しだすとー

あつ！

スライッ

盆切り

まだ柔らかいけど
お線香の形だ！

ガッ

これだけ
熟練するには
何年もかかるのだよ

生付け

干し板という
モミの木の大きな板に
移し替えるんです

端っこを
切り落として



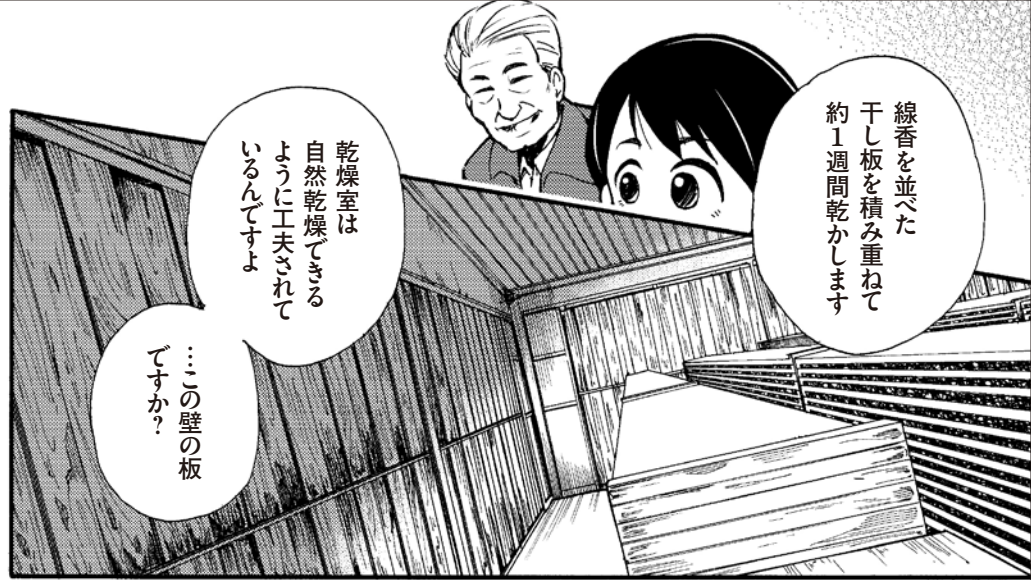
乾燥したお線香を計量して箱詰めしたら製品としてお客様へ出荷します



わたしには無理…

繊細で折れやすいお線香を正確に手早く扱う…

これもとても難しいんですよ



線香を並べた干し板を積み重ねて約1週間乾かします

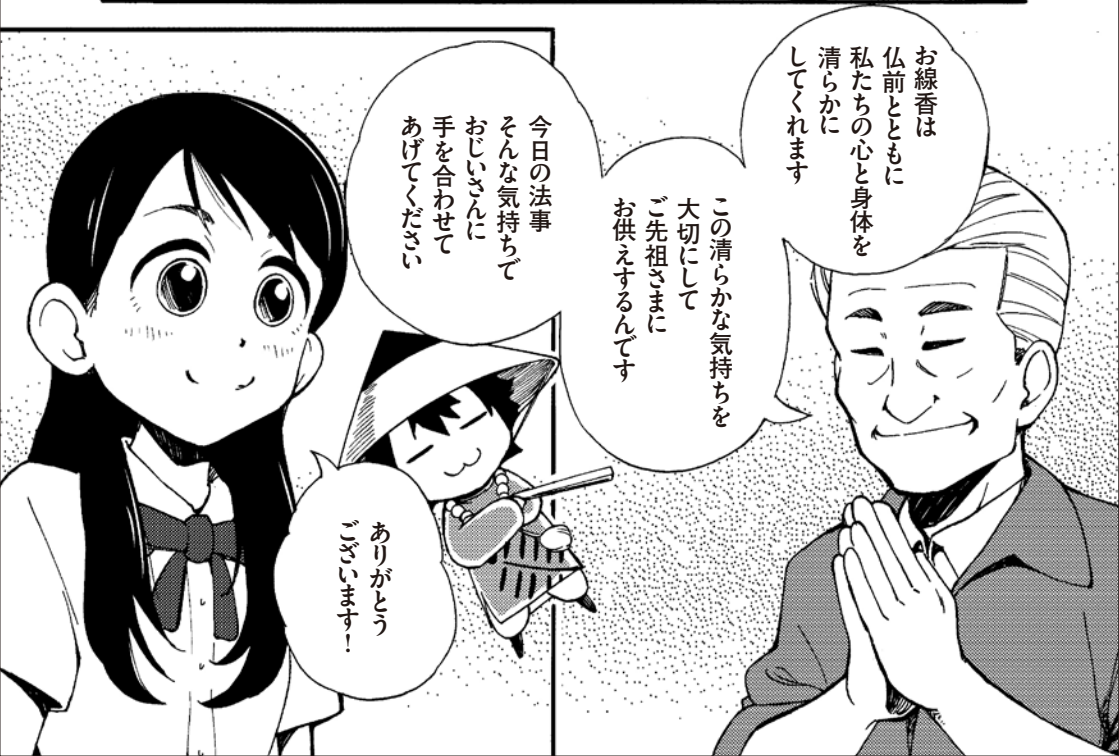
乾燥室は自然乾燥できるように工夫されているんですよ

…この壁の板ですか？



そう！天気の良い日はこのように閉じておいて

晴れの日には開けて風通しを良くするんですよ
ベカコと言います



お線香は仏前とともに私たちの心と身体を清らかにしてくれます

この清らかな気持ち大切に
ご先祖さまにお供えするんですよ

今日の法事そんな気持ちでおじいさんに手を合わせてあげてください

ありがとうございます…

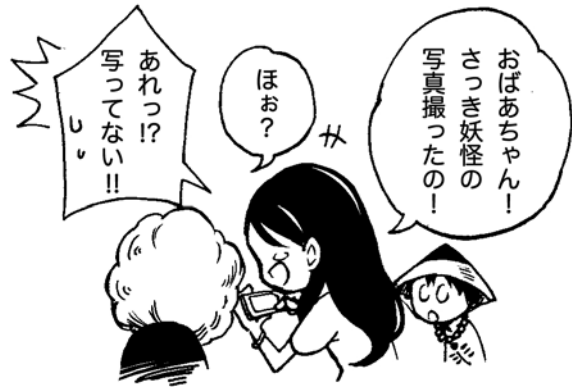


ベカコは気温や湿度で開ける幅を微調整できます

先人たちの知恵だな

触ってパチパチ音が鳴ったら「もう束ねても大丈夫」ってことです

熟練した職人さんなら音だけでお線香の乾燥具合がわかるんですよ



お線香ができるまで
—仏前と心身を清めるかおり—

2013年10月 第1版発行

発行 日本薫物線香工業会
協力 兵庫県線香協同組合
編集 京都精華大学 事業推進室
作画 榎 朗兆 (京都精華大学 マンガ学科卒)

